

解 答 速 報

藤田医科大学（前期） 英語

2022年1月20日実施

マーク解答

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 第1問 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| | (2) | (3) | (2) | (4) | (3) | (3) | | |
| 第2問 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | (4) | (3) | (1) | (4) | (1) | (3) | (5) | (1) |
| 第3問 | 15 | 16 | 17 | 18 | | | | |
| | (4) | (2) | (4) | (4) | | | | |
| 第4問 | 19 | 20 | 21 | 22 | | | | |
| | (2) | (1) | (2) | (1) | | | | |

記述解答

第5問

| | |
|--------|---|
| 問 1 | AI にデータの良し悪しを見分ける能力をもたせ、自身に差別的行動の傾向がないか確認しつつデータに含まれるかもしれない問題を認識するように心がけること。 |
| 問 2 | AI のアルゴリズムが透明性を備えるには、アルゴリズムそのもの、機能の仕方、コードを理解しやすくすればよく、そうすることで信頼性も確保されるものの、大半の医療用 AI ソフトウェアは商用商品であり、販売会社は知的財産保護の必要からそうした情報を開示したからないから。 |
| 問 3 | (i) 集中治療室の患者たちに処方すべき抗生物質を提案する機能。 (ii) 確率計算の過程を遡って追跡し、どのように解にたどりついたのかをユーザーに伝えることによって実現していた。 |
| 問 4 | お |

〈〈 模試・講座のご案内 〉〉

医学部進学予備校 **メビオ** では [後期] 模試 / 後期攻略講座 を実施します

※詳細は最終面をご確認ください

第6問

| | |
|-----|---|
| (1) | <p>recent findings, obtained by observing a particular group, cannot be used to conclude that most gorillas are right-handed</p> <p>(別解) the recent findings were the result of observing a specific group, and thereby cannot be used to conclude that gorillas are right-handed in general</p> |
| (2) | <p>When gorillas pulled out ginger from the ground in one hand, there was no significant difference in the use of hands.</p> <p>(別解) There was no significant difference in which hand the gorillas used when they pulled out ginger from the ground with one hand.</p> |
| (3) | <p>There are, however, a growing number of case reports where primates other than humans frequently use one hand as if it were dominant.</p> <p>(別解) However, more cases have been reported where primates other than humans use a certain hand frequently as if it were their dominant hand.</p> |

解説

第1問

文法・語法

- 問 1. (2) “Just because S’ V’ ~ doesn’t mean that ~.”
 「S’が V’するからといって～ということにはならない」
 just because には名詞節を導く用法がある。
- 問 2. (3) “Her parents objected to her living by herself ~”
 「両親は彼女が～一人で暮らすことに反対した」
 object to ~ で「～に反対する」という意味を表す。to は前置詞であり、ここでは直後には意味上の主語がついた動名詞が置かれている。
- 問 3. (2) “I don’t know what became of ~”
 「～はどうなったかわからない」
 <What became [has become] of ~?> 「～はどうなったのだろうか？」
- 問 4. (4) “~, and what was worse still, ...”
 「～そしてよりいっそう悪いことに…」
 <what is worse> で「さらに悪いことに」という意味を表す。
- 問 5. (3) “~ lives within his means.”
 「収入の範囲内で暮らす」
 means 「手段、財産・収入」
- 問 6. (3) “~ had a lot of money at your disposal?”
 「自由に使えるお金がたくさんある」
 <at one’s disposal> 「自分の自由に使えて、意のままに」

第2問

語句整序

- 問 1. (4)(3) (She) cried her way home disappointed at the (result.)
 cry one’s way home 「泣きながら帰路につく」 “disappointed at the result” は分詞構文。

- 問 2. (1) (4) (I had to climb slopes) **as steep as 30 degrees to make it there (.)**
 as steep as ~ で急な角度であることの強調をしている。“as steep as 30 degrees” 全体は形容詞要素として slopes を後から修飾。
- 問 3. (1) (3) **That would be very nice of you(.)**
 That is very nice of you. 「本当にありがとう (そんなことをしてくれるなんて親切ですね)」
- 問 4. (5) (1) (Despite) **the fact that I informed him of the news (, he did not put off his trip.)**
 despite は前置詞。 the fact that S’V’ ~ 「～という事実」 inform A of B 「A に B を伝える」

第3問 長文総合

- 問 1. (4) 「魚類とその生息地の研究者」
 A の最初の発言中の、A の B に対する質問に “As a biologist who has been working for more than a decade to help protect the arapaima, could you ~” 「10 年以上ピラルク(arapaima)保護のために研究活動が続けてきた生物学者として、あなたは～」とある。
- 問 2. (2) For a long time people were **excluded from the conservation perspective, but ~**
 「長い間、人々は環境保護という観点を知らずにいた。しかし～」
 B の 2 つ目の発言に、“Now local people say they need to protect the environment” 「今や、地元民は環境保護が必要だと言っている」とある。これより、以前は環境保護の重要性は人々に認識されていなかったことが推測される。
- 問 3. (4) **Without a doubt.**
 「間違いありません」
 空所(い)に続く B の発言には、環境保護に付随する利益が述べられている。よって直前の A の質問に対する B の発言は肯定的であると予想できる。
- 問 4. (4) 「ピラルク(arapaima)保護における地元民の役割は、環境保護活動においてかなり助けになっている」
 B の最初の発言部分の第 5 文に “~ but actually they play a very important role in sustaining and maintaining the forest.” 「～しかし実際は、彼らは森林を養い維持するのに非常に重要な役割を果たしている」とあることが根拠となる。

第4問 長文総合

- 問 1. (2) “~, more than 1,000 people who regularly use brain training programs were **compared to** around 7,500 people who don’t do the mini brain workouts.”
 空所(あ)を含む文のおおよその意味は「～、日頃から脳トレゲームを利用している 1000 人強の人々が、ちょっとした脳トレの訓練をしていない 7500 人ほどの人々と比較された」である。第 3 段落第 2 文に、“There was little difference between how both groups performed on a series of tests of their thinking abilities, ~” 「両方のグループが一連の思考能力テストで出した成績には差がほとんどなく、～」とあることから、両方のグループ、すなわち「1000 人強の人々」と「7500 人ほどの人々」とが「比較された」と考えられる。
- 問 2. (1) “~, they saw that brain trainers on average had no mental **advantage** over the other group in memory, verbal skills and reasoning.”
 空所(い)を含む文のおおよその意味は「～、脳トレグループは、概して、記憶力、言語能力、推論の点で、他方のグループに対して知的優位性は何ら有していないことがわかった」である。第 7 段落第 2 文に、“Even among the most dedicated, who ~ , brain training didn’t boost thinking abilities above the level of people who didn’t use the programs.” 「～最も熱心に取り組んだ人々においてさえ、脳トレをしても、脳トレをしていない人よりも思考力が上がることはなかった」とあり、脳トレに取り組んだグループとそうでないグループとの間に思考能力の差がなかったということがわかる。
 <have an advantage over ~> で「～より優位に立つ」となる。

問 3. (2)「研究に参加した被験者の 85%以上は脳トレゲームを利用していなかった」

第 3 段落第 1 文より、研究に参加した被験者の総数は概算で 8500 人、そのうち脳トレゲームをしていない人は概算で 7500 人とわかるので、計算すると 85%以上であることが確認できる。

問 4. (1)「脳トレに効果はなかったが、その理由をはっきりと特定されていない」

前半の内容は第 3 段落第 2 文ですすでに言及されているが、後半の内容ははっきりと明示されているわけではない。とはいえ、理由について明確な記述もないことから、この内容を否定する根拠もない。残りの選択肢について、(2)「テストがあまりにも多すぎたため参加者は集中できなかった」、(3)「研究者は同じ年齢、同じ教育水準、同じ社会経済的地位の参加者を募った」、(4)「脳トレゲームを用いるのに費やした時間がとても長く、ストレスを引き起こした」は、ともに本文に根拠となる記述が見当たらないことから、答えは(1)に決まる。

第 5 問

長文総合 (※以下解説の段落番号は、問 4 で段落挿入を行った上での番号となる。)

問 1. 下線部《A》の性質 “inclusive, equitable, ethical, unbiased” を備えるために開発者がする必要のあることは、本文に明記されているわけではない。従って、第 3 段落第 2 文に示された、《A》とは逆の性質をもたらす要因を裏返して説明することになる。その 1 文のおよその意味は「そうした事態が起こるのは、開発者が AI に良いデータと悪いデータを見分ける能力を与えていない可能性があるからであり、またはデータの諸問題が人間の差別的な行動から生じることが多いため、開発者はそれらを認識していなかった可能性があるからだ」である。ここから設問に対する答えを作成するにあたって、ポイントをまとめると次の通り。

- ① 開発者は AI にデータの良し悪しを見分ける能力を持たせる必要がある。
- ② 開発者は自身の差別的行動が原因でデータの問題が生じることを自覚することで、データの問題を認識できるようにする必要がある。

以上のポイントをまとめて解答とするが、どこまで詳しく書くかは解答欄の大きさを見て判断する。

問 2. 下線部《B》の性質 “transparent, trustworthy” の性質を備えることが困難な理由については、第 4 段落第 2 文～第 4 文で説明されている。それらのおよその意味は「透明性とは、AI アルゴリズムそのもの、その機能の仕組み、裏側で動いているコンピュータ・コードを簡単に理解できることを意味する。この種の透明性が、厳密な妥当性の検証とともに、ソフトウェアに対する信頼を築くのであり、そうした信頼は患者の治療には不可欠である。残念ながら、医療業界で使用されている AI ソフトウェアの大半は、営利団体から得られたものであり、そうした団体は知的財産を保護する必要があるため、そのアルゴリズムやコードを公開したがるのだ」である。ここから設問に対する答えを作成するにあたって、ポイントをまとめると次の通り。

- ① AI アルゴリズムが透明性を備えるには、アルゴリズムそのもの、その機能の仕組み、コードを理解しやすくすればよい。
- ② AI アルゴリズムは透明性を備えることで、信頼性も高まる。
- ③ しかし医療用 AI ソフトウェアの大半は営利目的で開発された商品であり、それゆえに開発した会社は知的財産保護の必要からそうした情報を公開したがる。
- ④ (従って、透明性も信頼性も備わらない)

以上のポイントをまとめて解答とするが、どこまで詳しく書くかは解答欄の大きさを見て判断する。

問 3. 下線部《C》の性質を備えていた最初期の AI のもつ機能については第 7 段落(How do we ~)第 2 文に示されている。その 1 文のおよその意味は「興味深いことに、医療分野で最初期に成功した AI アルゴリズムの 1 つは、医師でありコンピュータ科学者でもあるエドワード・ショートリフが 1970 年代初頭に開発した、集中治療室の患者に抗生物質を処方するための MYCIN プログラムであった」である。また下線部《C》の性質をどのように実現していたかは、同段落最終文に示されている。その 1 文のおよその意味は「MYCIN はエキスパートシステムと呼ばれる AI の一種で、「なぜ？」という問いに対して、確率計算を遡って追跡し、答えにたどり着いた経緯をユーザーに伝

えることによって、答えられるものだった」である。

- 問 4. 挿入すべき段落の第 1 文で、“**In other words, this** should just be **a matter** of priority for the developer.” 「言い換えると、これは開発者にとっての優先順位の問題でしかないはずだ」とあることから、「何の言い換えとなっているか」、「this の指す内容は何か」を考えるのがセオリーである。それとともに、“a matter” というフレーズも大きなヒントとなる。第 8 段落最終文にも “a matter” が含まれており、その 1 文のおよその意味は「それは単に、アルゴリズムが反復適用されるあいだにそれを追跡し、答えに至るまでの道筋を人間に理解可能な形でユーザーに提示することに、時間と労力をかけるという問題なのだ」である。先の第 1 文は、この内容を言い換えたものと判断できる。従って、【お】が適切な挿入箇所となる。

第 6 問

長文中和文英訳

- 問 1. 「近年の調査結果は特定の集団を観察することから得られたものであり、ゴリラが一般的に右利きであると結論付けるのに用いることはできない」
本文中にある表現から、「調査結果」は findings、「ゴリラ」は gorillas、「右利き」は right-handed などを利用するとよい。「近年の」は recent / in recent years、「特定の集団」は a particular [specific / certain] group、「観察する」は observe / monitor などとするとよい。「近年の調査結果は～を観察することから得られたものであり、…と結論付けるのに用いることはできない」は recent findings, obtained by observing ~, cannot be used to conclude … / the recent findings were the result of observing ~, and thereby cannot be used to conclude … / the survey results in recent years were achieved through the observations of ~, and thus cannot act as a means of concluding that … などと表せる。「ゴリラは一般的に右利きである」は most gorillas are right-handed / gorillas are right-handed in general / gorillas are mostly righties などとするとよい。
- 問 2. 「ゴリラが片手で地面から生姜を引き抜く際にどちらの手を使うかに有意な差はなかった」
本文中にある表現から、「片手で」は with one hand、「生姜」は ginger などを利用するとよい。「片手で地面から生姜を引き抜く」は pull out ginger from the ground with one hand / uproot ginger in one hand などと表せる。「ゴリラが～を引き抜く際にどちらの手を使うかに有意な差はなかった」は When gorillas pulled out ~, there was no significant difference in the use of hands. / There was no significant difference in which hand the gorillas used when they pulled out ~. などと表せるほか、In uprooting ~, no marked difference was found between gorillas' right and left-handedness. などとも表せる。
- 問 3. 「しかし、人間以外の霊長類が特定の手をまるで利き手であるかのように頻繁に使う事例の報告が増えてきている」
本文中にある表現から、「利き手」は dominant hand を利用するとよい。「霊長類」は primates、「頻繁に」は often / frequently、「事例」は cases / instances (第 3 段落 1 文目)、などとするとよい。「人間以外の霊長類」は primates other than humans / other primates except humans / non-human primates、「特定の手をまるで利き手であるかのように頻繁に使う」は use one hand (as) frequently as if it were their dominant hand、「～事例の報告が増えてきている」は there are a growing number of case reports where ~ / more cases have been reported where ~ / an increasing number of instances have indicated that ~ などと表せる。

講評

- 第1問** [文法・語法 4 択] (標準) 総じて標準的な良問。しっかり得点したい。
- 第2問** [語句整序] (標準) 一見易しく見えるが、形容詞の位置や和文と英文とのギャップに注意が必要な問題が含まれる。応用力を問う良問。
- 第3問** [長文総合] (やや易) 「アマゾン川流域での環境保護の取り組み」に関するインタビュー記事を基にした長文。2022 年度ふじた未来入試における出題形式と同じで、内容や話題となっている状況に関する推測能力が問われる。
- 第4問** [長文総合] (やや易) 「脳トレゲームに効果はないことを示した研究」に関する英文。2022 年度ふじた未来入試における出題形式と同じで、文章内容も比較的平易で取り組みやすい。
- 第5問** [長文総合] (標準) 「医療用 AI が備えるべき性質」に関する英文。設問は何を答えるべきか明瞭に示されている。要約的な要素がかなり薄まり、設問も減ったことで、昨年度前期より大幅に取り組みやすくなった。
- 第6問** [長文中英訳問題] (標準) 「ゴリラの 70% が右利きであったこと」に関する英文中の英訳問題。下線部中の日本語表現の多くは英文中にヒントがあるので、主に英文構造を正確に構成する力が問われている。設問はこれまでの 4 カ所から 3 か所に減った。

マーク部分、記述部分ともに、昨年度前期よりも取り組みやすい。記述部分の出来で差がつくだろう。1 次合格のための目標は 60%

本解答速報の内容に関するお問合せは

医学部進学予備校 **メビオ**

☎ 0120-146-156 受付 9:00~21:00(土日祝可)
大阪府中央区石町 2-3-12 ヘルヴオア天満橋
<https://www.mebio.co.jp/>



友だち追加で全科目を閲覧!
LINE 公式アカウント

◀ メビオの友だち登録はこちらから

医学部専門予備校 **YMS** ☎ 03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>

医学部専門予備校 **英進館メビオ** 福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

後期模試/後期攻略講座は名古屋会場でも実施します!

金沢医科大学 [後期] 模試 2.11 (金)

科目 英/数 申込締切 2月8日(火) 20:00 大阪名古屋福岡
会場 大阪・名古屋・福岡の各会場
※会場の詳細はHPでご確認ください

関西医科大学 [後期] 模試 2.16 (水)

科目 英/数/理科2 申込締切 2月13日(日) 20:00 大阪東京福岡
会場 大阪・東京・福岡の各会場
※会場の詳細はHPでご確認ください

対象 医学部受験生・新高3生 料金 6,600円(税別)

※内容は一部変更の可能性があります。時間割の詳細はHPでご確認ください

お申し込みはこちら



医学部後期攻略講座 大阪名古屋

2月6日~3月7日 大阪/名古屋会場(金沢・藤田対策のみ)

- 大阪医科大学** テストゼミ/全2授業(大阪会場)
- 関西医科大学** 全8授業(大阪会場)
- 近畿大学医学部** 全8授業(大阪会場)
- 金沢医科大学** 全8授業(大阪会場)(名古屋会場)
- 藤田医科大学** 全4授業(大阪会場)/全6授業(名古屋会場)
- 久留米大学医学部** 全8授業(大阪会場)

◆各講座の時間割・受講料・会場についてはHPでご確認ください

※内容は一部変更の可能性があります。時間割の詳細はHPでご確認ください

医学部進学予備校 **メビオ** フリーダイヤル ☎ 0120-146-156 [受付時間] 9:00~21:00

大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ヘルヴオア天満橋
天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分

2022年度より特待制度を新設します
条件によって学費を50~90%減免。
詳しくはお問い合わせください。